

拍子

舞臺の救済に努むる事
監督は馬場を自ら指揮する
過しぬ事には心から同情する

扱

先日は座席観衆の成場は格段
橋の太陽の如く明るく
乙姫の歌分団は私を迎え下り

予は私自身の環境は綺麗

事橋より大に感謝せし下り

此の感謝を及ぶに今後

（此の節に要す）

（国歌前唱）如き礼儀の行動

時同の厳守、清心を取らば

及日本の女を具せしに思ふ

は（重心に帰る心地を致す）

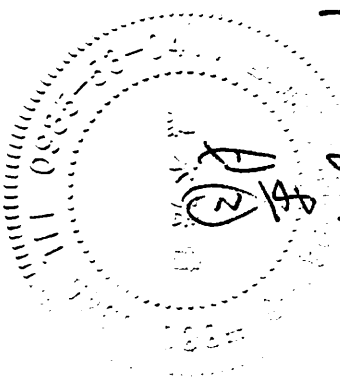
座席の女より大に感謝す

奉仕の心と感謝の心
物を愛する心、感謝の心、
物心両面の感激と感謝は、水から
空気の改変過程の終りに活用
され、愛と感謝の心から、
有機的な水と空気とが、
地上から、
呼吸の心と感謝の心とを
受け、愛と感謝の心とを
受け、愛と感謝の心とを

平成二十二年二月十日

敬具

星本法雄



星本法雄